

Meijo University Environmental Report 2021

名城大学 環境報告書 2021



【立学の精神】

穏健中正で実行力に富み、
国家、社会の信頼に値する人材を育成する。

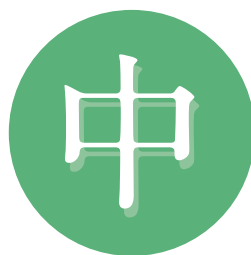
立学の精神、その中に含まれる、「穏」「健」「中」「正」、この4文字の意味するところを身につけることができれば、広く社会の人々から信頼をうけることができるのではないかと。そして、この4文字の意味を体して、力強く、実践を積み重ねるとき、きっと個人の障害は大きくその門を開くだろう。



平和であたたかく
穏やかであること。



秩序と調和と
確実さをもって、
支障なく
力強く前進すること。



謙虚にものごとの
核心をつかみ、
包容力ある
立場にあること。



ものごとに、折り目、
けじめをつけ、
順逆をわきまえて
筋を通すこと。

共有する価値観

生涯学びを楽しむ
(Enjoy Learning for Life)

すべての学生生徒が本学の教育によって「学ぶ楽しさ」に気づき、卒業、修了後もそれぞれの多様なコミュニティの中で様々な人や文化と出会い、人生を楽しみながら生涯学び続けていくことを、共有する価値観と決めました。また、この価値観には学生・生徒だけでなく、教職員も「学ぶ楽しさ」「教える楽しさ」「仕事の楽しさ」を実感し、有意義な日々を送ってほしいという意味も含まれています。

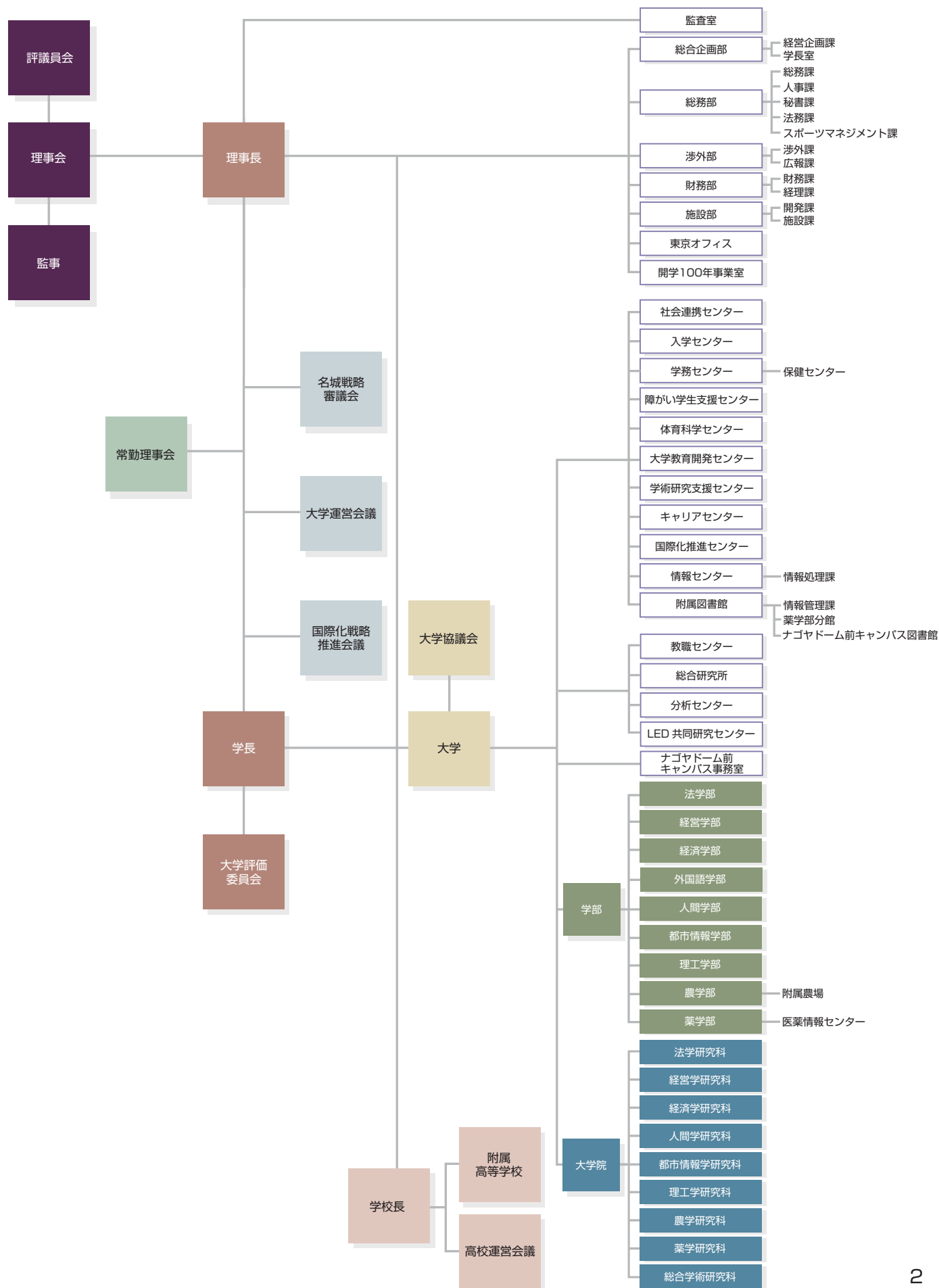
基本戦略

MS26

本学では、2015年度から、開学100周年にあたる2026年を目標年度とする新たな戦略プラン「Meijo Strategy-2026」（通称MS26）を推進しています。2026年は、本法人の礎となる「名古屋高等理工科講習所」の開設から100年という節目の年になります。MS-26に掲げるビジョンは、本学の志であり、学生・生徒が卒業・修了後に本学を卒業・修了して良かったと思える大学・大学院・高等学校づくりをめざします。

組織機構図

2021年6月1日時点



キャンパス紹介

天白キャンパス



〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL 052-832-1151 (代表)
地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅1番出口
徒歩約4分
校地現有面積 129,367m²、
校舎等現有面積 179,772m²
学生数 10,947人、
教職員数 623人

八事キャンパス



〒468-8503 名古屋市天白区八事山150番地
TEL 052-832-1151 (代表)
地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅
6番出口徒歩約6分
校地現有面積 17,553m²、
校舎等現有面積 32,825m²
学生数 1,674人、
教職員数 85人

ナゴヤドーム前キャンパス



〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目102番9
TEL 052-832-1151 (代表)
JR中央線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅
徒歩約10分、地下鉄名城線「ナゴヤ
ドーム前矢田」駅2番出口徒歩約3分
校地現有面積 17,937m²、
校舎等現有面積 32,559m²
学生数 2,379人、
教職員数 98人

春日井キャンパス (附属農場)



〒486-0804 春日井市鷹来町
字菱ヶ池4431-2
TEL 056-81-2169
校地現有面積 136,860m²、
校舎等現有面積 7,042m²

中村キャンパス (附属高等学校)

〒453-0031 名古屋市中村区
新富町一丁目3番16号
TEL 052-481-7436 (代表)
名鉄犬山線「東枇杷島」駅
徒歩約5分、JR東海道線「枇杷
島」駅徒歩約20分
校地現有面積 64,335m²、
校舎等現有面積 31,690m²
学生数 1,946人、
教職員数 105人

グラウンド等 (第1・2グラウンド、 日進総合グラウンド)



〒468-8502 日進市藤島町長塚
75番地
TEL 0561-73-0810
※第1・2グラウンドは天白キャン
パスにあります。
校地現有面積 152,553m²、
校舎等現有面積 5,827m²

環境理念

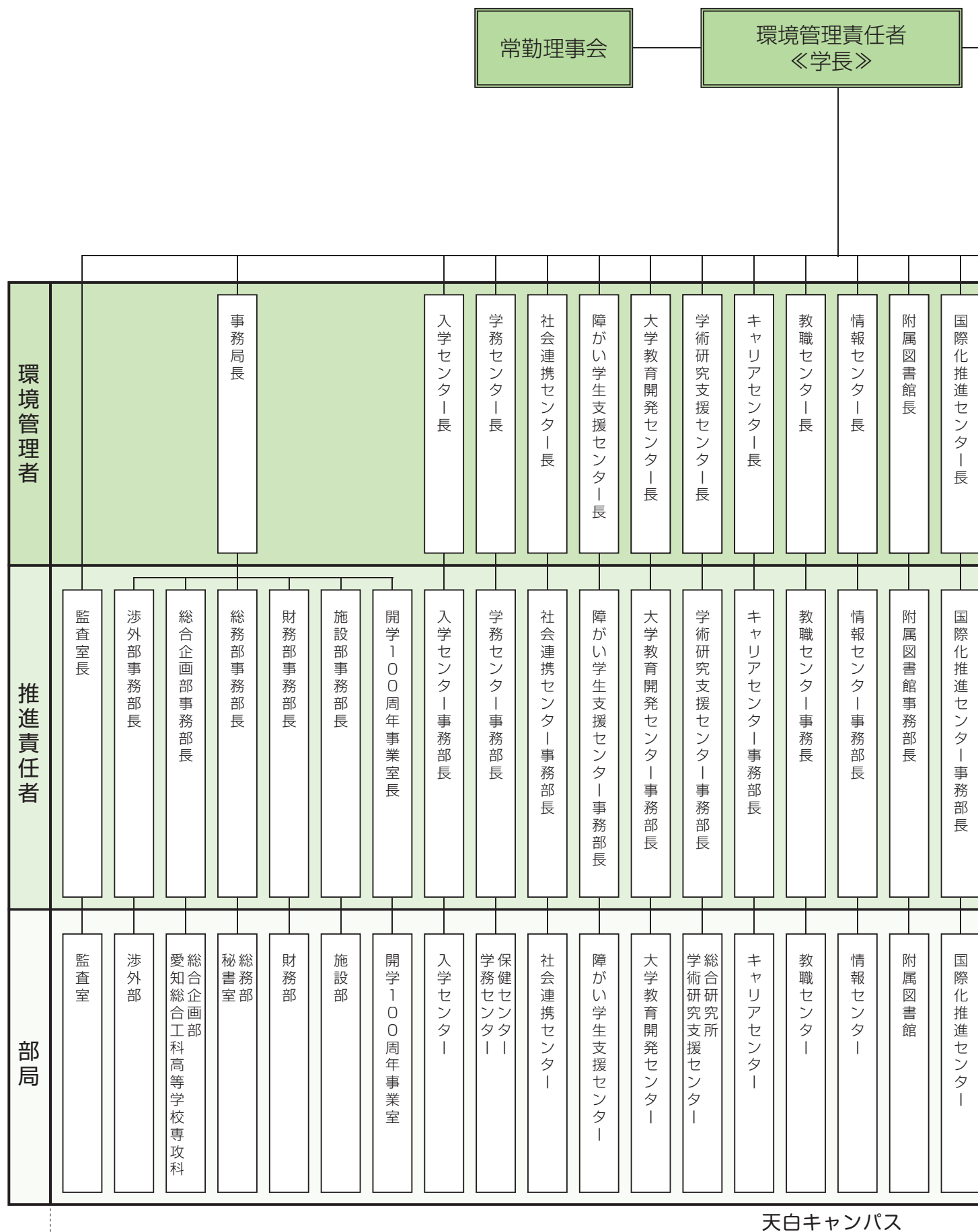
名城大学及び名城大学附属高等学校は、環境基本法を始めとする環境法令を遵守し、社会から要請される「持続的に発展可能な社会の形成」に応えられる人材の育成と研究に努めます。

環境方針

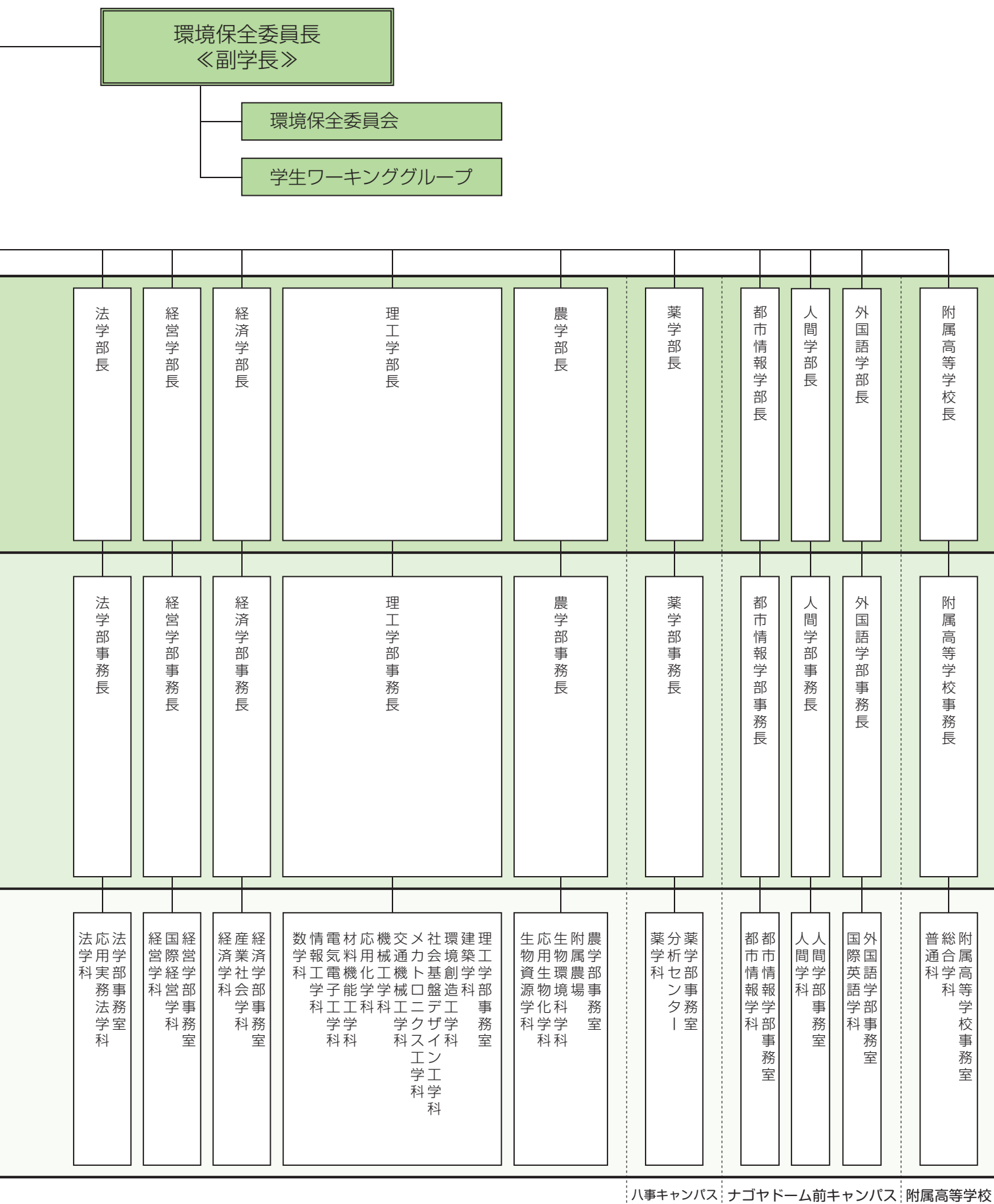
1. 地球環境の保全と維持向上に係る教育研究活動を充実し、環境を視野に入れた人材を育成します。
2. 環境に係る公開講座などの開催や研究成果の公開を推進し、環境保全に貢献します。
3. 省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組みます。
4. 教育研究をはじめ、総ての活動において、環境関連法規制、協定等を遵守し、汚染の予防に努めます。
5. 環境方針を達成するため、名城大学が独自に策定した環境マネジメントシステム（Meijo-EMS）を構築・運用します。
6. 内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムを含む環境保全活動の継続的な改善を図ります。
7. 環境方針はホームページで公開します。

令和3年4月1日 名城大学 学長 小原 章裕

環境マネジメント システム組織図



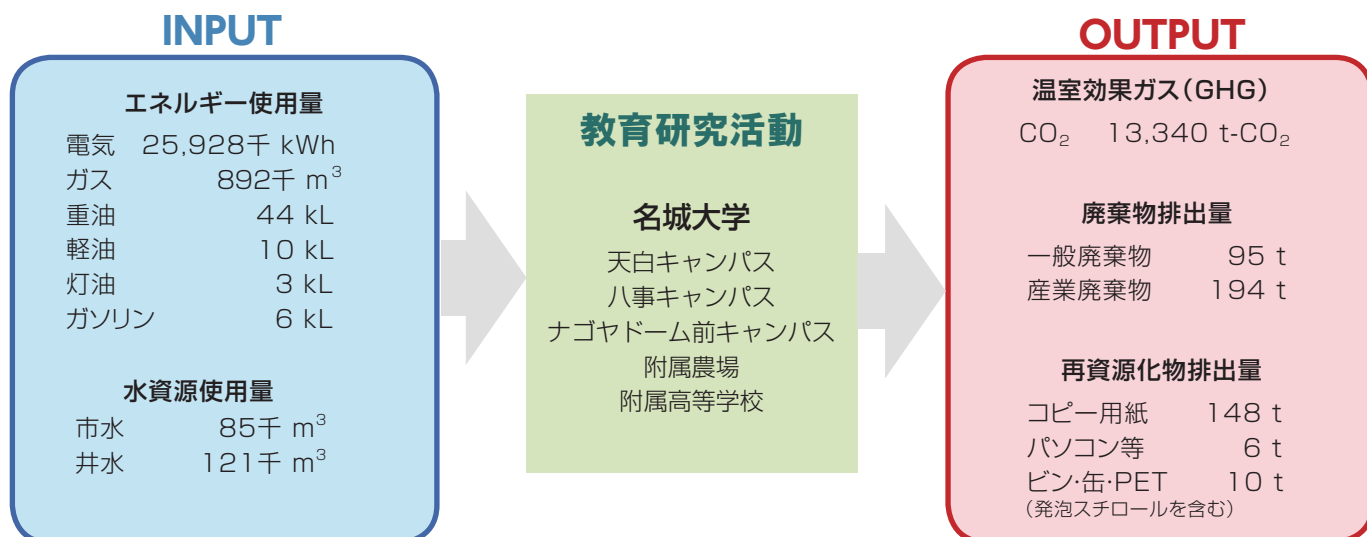
環境マネジメント システム組織図



環境への取り組み状況

マテリアルバランス

本学の各キャンパスで使用・消費されるエネルギー、資源、及び廃棄物などについてデータを集計し、環境配慮活動の基礎データとして、環境負荷の低減に努めています。2020年度の教育研究活動に伴って生じた環境負荷の状況は次の通りです。

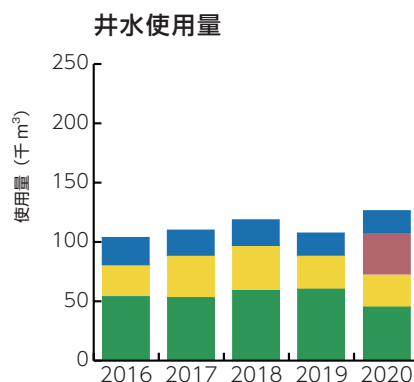
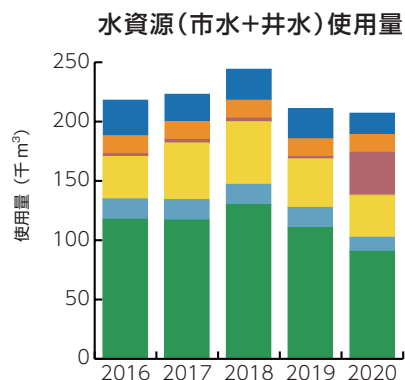
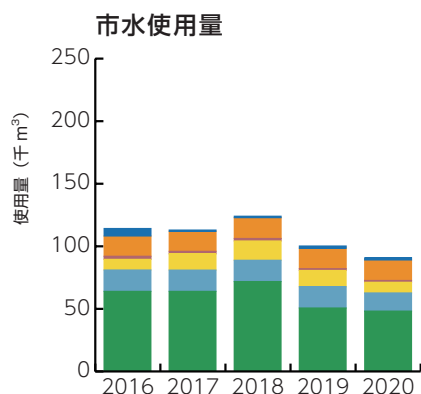


省資源の推進

水資源の管理

水道の蛇口をひねれば、透明な水が出てくるのが当たり前で、その価値は薄くなっています。また、浄水器を通した水やミネラルウォーターなどを飲む人が増えており、水道水をそのまま飲んでいる人の割合は50%以下となっています。

本学では積極的な雨水・井水の利用、漏水の随時監視、節水コマの導入、学生・教職員への呼びかけにより、市水の利用を削減するよう努めています。水資源の使用量の推移は次の通りです。



■ 天白キャンパス ■ 八事キャンパス ■ ナゴヤドーム前キャンパス ■ 附属農場 ■ 附属高等学校 ■ その他*

※その他は、可児キャンパス(旧)、日進総合グラウンド、ヨット艇庫の合計です。

環境への取り組み状況

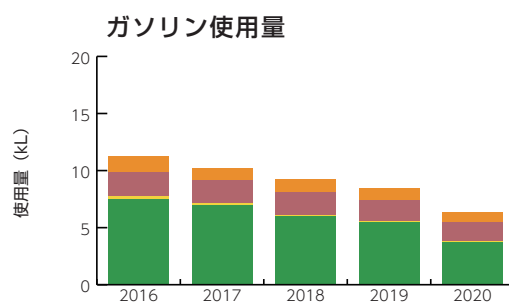
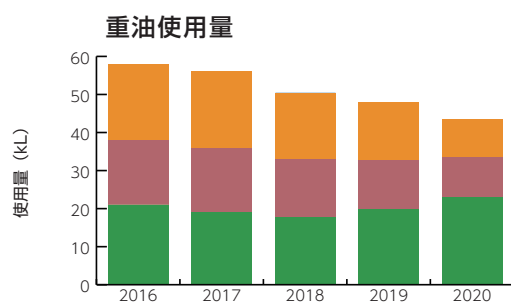
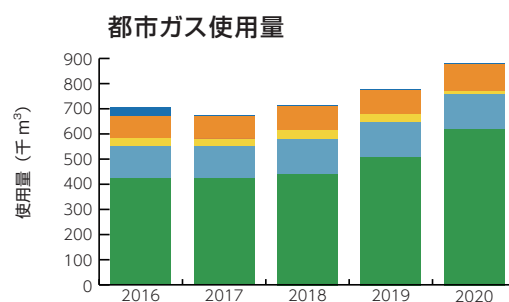
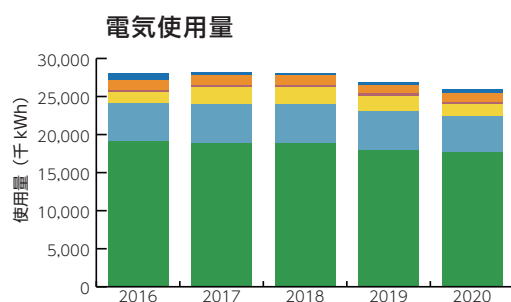
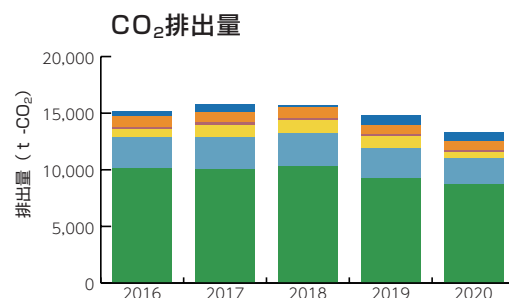
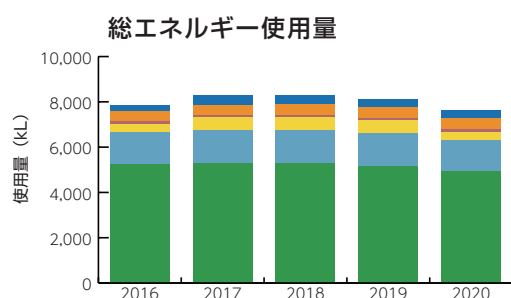
省エネルギーの推進

エネルギー使用量

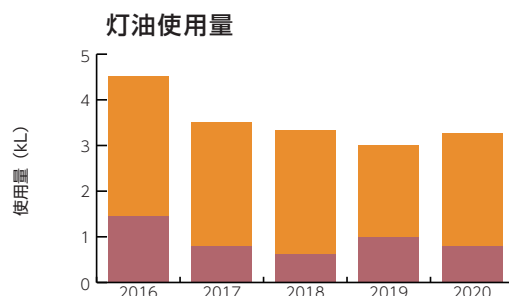
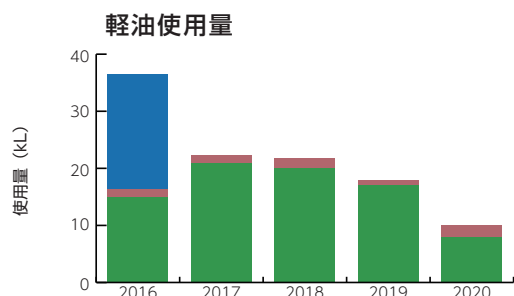
エネルギーの使用量は、4つのキャンパス、総合グラウンド、附属高等学校及び関連施設を合わせて、原油換算値約8,000kLと横這いで推移しています。本学におけるエネルギー使用の管理は、施設管理部署に委ねられているため、教室・研究室・実験室といった各室における管理が難しい状況です。各室における管理・運用を検討することや、教職員・学生の意識向上を図ることで省エネ活動を推進していきます。

■ 天白キャンパス ■ 八事キャンパス ■ ナゴヤドーム前キャンパス ■ 附属農場 ■ 附属高等学校 ■ その他*

※その他は、可児キャンパス（旧）、日進総合グラウンド、ヨット艇庫の合計です。



環境への取り組み状況



廃棄物の適正管理

廃棄物の取り組み

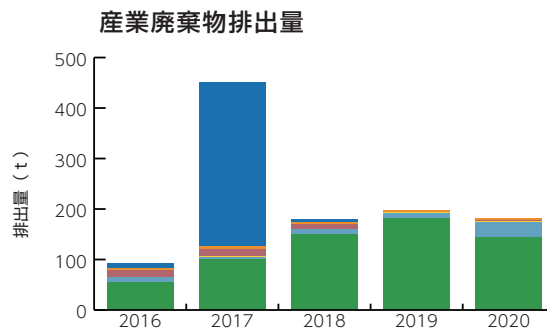
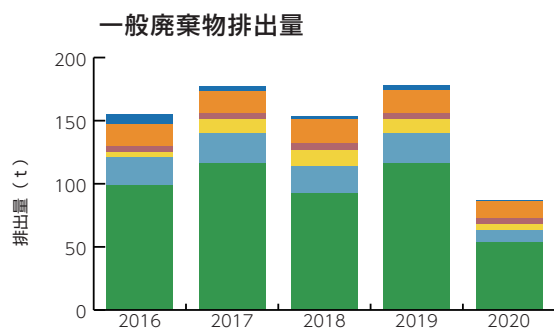
一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量は、例年150t程度で推移しています。6種類の回収ボックスとボトルキャップ回収箱を設け、分別回収及びリサイクルに努めています。

産業廃棄物については、2017年度、可児キャンパスの移転に伴い、約300t増加しました。有用な備品等は譲渡し、できる限り分別廃棄しました。2016年度まで産業廃棄物として処分していたO A機器・計測機器等については、2017年度から分別回収を強化し、有価物として処分しています。2020年度はO A機器・計測機器等を有価物として処分することで約6tもの産業廃棄物を減量することができました。

大学祭においても、大学祭実行委員によって適切に分別回収を行いました。

■ 天白キャンパス
 ■ 八事キャンパス
 ■ ナゴヤドーム前キャンパス
 ■ 附属農場
 ■ 附属高等学校
 ■ その他*

※その他は、可児キャンパス（旧）、日進総合グラウンド、ヨット艇庫の合計です。



環境への取り組み状況

令和3年度 環境目標・実施計画

環境側面	対象	環境目標	実施計画
エネルギーの使用	電力	前々年度比 1%以上削減する（※）	人感センサーや高効率照明の利用
			高効率空調機の利用
			空調のデマンド管理
			省エネルギー対策実施の啓発活動
	ガス	前々年度比 1%以上削減する（※）	高効率空調機の利用
			空調機のフィルター清掃の実施
資源の使用	水	前々年度比 1%以上削減する（※）	漏水管理の徹底
			省資源の対策実施の啓発活動
	紙	前々年度比 1%以上削減する（※）	両面印刷や裏面利用を推進
			電子媒体を利用しペーパーレス化の推進
廃棄物の排出	可燃・不燃	前々年度比 1%以上削減する（※）	リサイクルを推進 リユースを推進
	紙類		
	ビン・缶		
	ペットボトル		
	有害物等		
環境汚染	PCB廃棄物	高濃度PCB廃棄物を 2022年3月までに処理する	PCB廃棄物の適正な管理
			PCB廃棄物の選別
	排水	排水基準値以下を維持する	pHモニタによる監視
			水質検査を実施
	実験廃液等	排水・大気への放出を抑制する	実験廃液等を回収し適正処理する
グリーン購入	全構成員	グリーン購入を推進する	グリーン購入を推進する
環境意識の向上	学生	環境意識を向上させる	環境関連科目を設置する
	全構成員	環境意識を向上させる	環境講座を開催する
	全構成員	環境に関する状況を周知する	環境報告書を発行し周知する
学内の環境美化 ・ 安全衛生の推進	清掃活動	清掃活動を実施する	学生有志及び職員による清掃活動を実施
	放置自転車	放置自転車を抑制する	自転車の整理整頓を定期的実施
	禁煙	学内全面禁煙を徹底する	学内全面禁煙を周知徹底
	安全衛生	学内の危険箇所を改善する	安全パトロールの実施

（※）前年はコロナ禍の影響で例外値のため、基準年を前々年度とする。

環境への取り組み状況

法令遵守

環境関連法令ならびに県及び市条例等を遵守するに当たり、本学に関連する法の要求事項を適宜確認し、環境負荷の低減に努めています。本学では、下記の環境関連法令等を遵守しています。

遵守している環境関連法令等

環境一般

環境基本法

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律

地球環境

地球温暖化対策の推進に関する法律

エネルギーの使用の合理化等に関する法律

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

廃棄物・リサイクル

循環型社会形成推進基本法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

資源の有効な利用の促進に関する法律

特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律（バーゼル法）

特定家庭用機器再商品化法

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

公害防止・安全衛生

大気汚染防止法

騒音規制法

振動規制法

悪臭防止法

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車 NOx・PM 法）

水質汚濁防止法

下水道法

浄化槽法

土壤汚染対策法

工業用水法

水道法

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

毒物及び劇物取締法

ダイオキシン類対策特別措置法

化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

消防法

放射性物質汚染対処法

農薬取締法

高圧ガス保安法

ビル管理法

作業環境測定法

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 有機溶剤中毒予防規則

事務所衛生基準規則 ボイラー及び圧力容器安全規則 化学物質管理促進法（SDS）

公害健康被害補償法

条例等

愛知県条例（環境基本条例、廃棄物の適正な処理の促進に関する条例など）

名古屋市・春日井市・日進市条例（廃棄物の減量及び適正処理に関する条例など）

水循環基本法、麻薬及び向精神薬取締法

環境への取り組み状況

環境保全・環境教育

本学の環境保全・環境教育に関する主な取り組みは、下表の通りです。

学部等	研究テーマ	ホームページリンク先
大学教育開発センター 入学センター	各教員が対応するテーマの中で環境保全や環境問題のテーマにも高校生、一般向けの出前講義を希望に応じて実施しています。	https://www.meijo-u.ac.jp/social/contribution/
経済学部	東アジアの持続可能な発展に向けたエネルギー環境政策のグリーン改革の方向性に関する研究 / 東アジアの原子力発電政策と原子力安全規制制度に関する研究 / 日本の温室効果ガス削減における 2030 年 NDC 目標及び 2050 年 80%目標達成に向けた炭素税制改革に関する研究 / 東アジアの持続可能な低炭素社会に向けた低炭素技術革新とエネルギー転換に関する研究を行っています。	http://www.profile-ac.jp/lee/index.html
理工学部	建設資材のリサイクルシステムに関する研究 / 水域生態系に関する研究 / 大気－地表水－地下水連成数値解析モデルの開発 / 大気微量成分の動態解析に関する研究 / 新生代の地球・地域環境の変遷に関する研究 / 水域水質の浄化に関する研究 / 衛星による降水観測に関する研究 / 人間－環境系に関する研究 / 社会基盤施設の維持管理に関する研究 / 環境に配慮したエネルギー変換に関する研究等の研究を行っています。	http://env.meijo-u.ac.jp/index.htm
農学部	植物多様性の保全・維持・復元に貢献することを目的として、最新の研究手法を駆使して遺伝子から景観の各レベルで野生植物の生態や環境応答などについて研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo15/index.html
	陸地から海洋までの幅広い自然環境をフィールドにして、そこに生息する様々な野生動物の生態・行動・生理の解明を通して、生物多様性をいかに保全していくべきかの研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo16/index.html
	大気、土壌、水といった身の回りの環境中に存在する有害化学物質を様々な機器を用いて分析・評価を行い、また、バイオマスを有効利用した環境低負荷型材料の新規創製の研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo17/index.html
	環境負荷の軽減に配慮した農業技術の開発に資するため、土壌及び作物における養分元素、重金属、農薬の動態を明らかにし、また、植物共生微生物を活用することを指向した研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo18/index.html
	植物の強光、高温、乾燥など様々な環境環境ストレスに対する適応機構を生理・生化学的に解析する研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo19/index.html
	「微生物が創る夢の世界」の実現をめざして、微生物が持つ力を借りて、様々な環境問題を科学的に解決する研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo20/index.html
	庭園から都市緑地、都市周辺の里山あるいは地球環境までの幅広い環境を対象にして、人の生活する外空間をよりよいものにするための研究を行っています。	http://www-agr.meijo-u.ac.jp/cgi-bin/labo21/index.html
薬学部	水環境で異常発生するラン藻類制御のための化学生態学的アプローチを行っています。	http://www-yaku.meijo-u.ac.jp/kenkyu/environmenta/

環境への取り組み状況

学生活動

打ち水大作戦

天白キャンパス共通講義棟南館の東側で、環境学生ワーキンググループによる「打ち水大作戦in名城」が開催されました。この活動は地球温暖化対策の一環として2011年から毎年実施されています。使用する水は雨水と地下水で合計2トンほどです。残念ながら2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャンパス閉鎖となり実施できませんでした。



打ち水をする学生



打ち水をする学生



2019年集合写真

クリーンアップ大作戦

ボランティア協議会はクリーンアップ大作戦と称し、毎月地域の清掃活動を実施しています。大学祭後は、ボランティア協議会と大学祭実行委員会の共催で大規模なクリーンアップ活動を実施しました。その他、名古屋市が企画する清掃活動にも参加しています。



清掃活動の様子



清掃活動の様子



清掃活動の様子

報告対象期間

2020年4月～2021年3月

(※一部対象期間外の活動を含む。)

報告対象組織

名城大学全キャンパス

発行年月

2022年3月

「環境報告ガイドライン (2012年版)」との対照表

本報告書は、環境省発行の「環境報告ガイドライン(2012年版)」に基づき作成しています。ガイドライン項目と記載ページの一覧を下表に示します。

記載する情報・指標	記載ページ
基本的事項	
1. 報告にあたっての基本的要件	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	10
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	—
(3) 報告方針	—
(4) 公表媒体の方針等	10
2. 経営責任者の緒言	—
3. 環境報告の概要	
(1) 環境配慮経営等の概要	1～2
(2) KPIの時系列一覧	3～6
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	—
4. マテリアルバランス	3
環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	
(1) 環境配慮の方針	3
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	1
2. 組織体制及びガバナンスの状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	2
(2) 環境リスクマネジメント体制	—
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	7
3. ステークホルダーへの対応の状況	
(1) ステークホルダーへの対応	—
(2) 環境に関する社会貢献活動等	—
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	—
(2) グリーン購入・調達	—
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	8,9
(4) 環境関連の新技术・研究開発	8,9
(5) 環境に配慮した輸送	—
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	—
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	6

記載する情報・指標	記載ページ
事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況	
1. 資源・エネルギーの投入状況	
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	3,5
(2) 総物質投入量及びその低減対策	3,5
(3) 水資源投入量及びその低減対策	3,4
2. 資源等の循環的利用の状況	6
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	—
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	3,5
(3) 総排水量及びその低減対策	—
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	—
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	—
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	6
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	—
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	—
環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 事業者における経済的側面の状況	—
(2) 社会における経済的側面の状況	—
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	—
その他の記載事項等	
1. 後発事象等	—
2. 環境情報の第三者審査等	—

名城大学

学校法人 名城大学

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

TEL : 052-832-1151 (代表)

URL : <http://www.meijo-u.ac.jp/>

E-Mail : ookankyo@ccmails.meijo-u.ac.jp